

25年2月主要5港コンテナ統計 概要

○2月の5港コンテナ貨物量 依然コロナ前水準を回復せず

- ・5港計の前年同月比は3か月連続増の1.1%。直近1年間は1.7%増。コロナ前(19年)比は▼4%減
- ・輸出実入の前年同月比は2か月ぶりの増4.8%、直近1年間比▼1.6%。コロナ前比は▼3%
- ・輸入実入は6か月連続増の0.9%、直近1年間比4.8%増。コロナ前比▼1%。

○2月の各港

- ・輸出入の5港計の前年比の増加は、1.1%。東京、名古屋、大阪の3港が増加。19年比は全5港とも▼。
- ・東京の計(4.4%増)は、11か月連続増。増の要因は輸出空コン(10.6%増)と輸入実入(4.7%増)。憂慮すべきは輸出実入1.6%▼で8か月連続減。直近1年間比▼10%。要因の分析が必要である。輸入実入は11か月連続増、19年比は0%。直近1年間比は7.4%増。ようやく、コロナ前の水準回復。
- ・横浜港の計(▼4.1%)は3か月ぶりの減。減の要因は輸入の実入が13か月ぶりで▼6.8%。一方、輸出の実入は2か月ぶりに増10.1%。同港計2月の19年比は、2か月連続減で▼1%。24年2月から12月まで6月と11月を除き10か月の増であった。この間の5港計の19年比は3か月の増に過ぎなかった。横浜港の好調が目立ったが、2月で終息か。今後はトランプ関税の影響が注目される。

○空コンの動向

- ・23年10月から紅海での商船攻撃によりスエズ運河を迂回し喜望峯経由を余儀なくされている。航海日数の増加で空コンは過剰から、一時、不足に転じた。空コン輸入の増減幅は、実入と比較して大きい。
- ・5港の空コンの輸出は、約18万TEUで前年同月比9%増、19年比は▼7%で、落ち着いた動きである。
- ・5港の空コンの輸入は23年10月～12月は月間約5万TEUと19年比で2倍と大幅増であったが、24年1月は約2万TEUと半減した。2、3月は5万TEU台に上昇したが、4月以降は、2万～3万TEU台。12月は約4万TEUでやや増加したが25年1月～2月は2万TEU台に、2月の19年比は▼17%。近時、大変動は無い。
- ・神戸港に23年8月に当NPOから要望した航路別統計については、2022年報に公表され、月報には24年4月発表の1月報から掲載されている。

2月の主要5港コンテナ統計貨物量 ■は増加、▼は減少、◇横ばい

	前年同月比	当月を含む3カ月の傾向	24年3月～25年2月	コロナ前(19年2月)
5 港 計	1.1%■	3カ月連続増 ■ ■ ■	1.7%■	4%▼
輸出	6.0%■	2カ月ぶりの増 ■ ▼ ■	1.1%■	5%▼
実入	4.8%■	2カ月ぶりの増 ■ ▼ ■	1.6%▼	3%▼
空	8.5%■	9カ月連続増 ■ ■ ■	5.9%■	7%▼
輸入	3.8%▼	3カ月ぶりの減 ■ ■ ▼	2.3%■	2%▼
実入	0.9%■	6カ月連続増 ■ ■ ■	4.8%■	1%▼
空	46.6%▼	2カ月ぶりの減 ▼ ■ ▼	18.9%▼	17%▼
東京 計	4.4%■	11カ月連続増 ■ ■ ■	2.9%■	5%▼
輸出	4.5%■	2カ月ぶりの増 ■ ▼ ■	0.1%▼	10%▼
実入	1.6%▼	8カ月連続減 ▼ ▼ ▼	10.0%▼	4%▼
空	10.6%■	10カ月連続増 ■ ■ ■	8.8%■	14%▼
輸入	4.3%■	11カ月連続増 ■ ■ ■	5.5%■	1%■
実入	4.7%■	11カ月連続増 ■ ■ ■	7.4%■	0%■
空	31.3%▼	2カ月ぶりの減 ▼ ■ ▼	63.6%▼	151%■
横浜 計	4.1%▼	3カ月ぶりの減 ■ ■ ▼	1.7%■	1%▼
輸出	6.9%■	2カ月ぶりの増 ■ ▼ ■	3.7%■	2%■
実入	10.1%■	2カ月ぶりの増 ■ ▼ ■	3.6%■	6%■
空	2.8%▼	9カ月ぶりの減 ■ ■ ▼	4.0%■	10%▼
輸入	16.2%▼	2カ月ぶりの減 ▼ ■ ▼	0.5%▼	5%▼
実入	6.8%▼	13カ月ぶりの減 ■ ■ ▼	6.4%■	1%▼
空	60.8%▼	2か月ぶりの減 ▼ ■ ▼	28.1%▼	39%▼
神戸 計	0.4%▼	2カ月連続減 ■ ▼ ▼	1.2%▼	6%▼
輸出	4.8%■	2カ月ぶりの増 ■ ▼ ■	0.3%■	7%▼
実入	1.1%■	2カ月ぶりの増 ■ ▼ ■	2.4%▼	11%▼
空	33.7%■	2カ月連続増 ▼ ■ ■	10.4%■	11%■
輸入	6.5%▼	3カ月ぶりの減 ■ ■ ▼	2.8%▼	4%▼
実入	2.0%■	3カ月連続増 ■ ■ ■	0.1%▼	3%▼
空	56.5%▼	5カ月連続減 ▼ ▼ ▼	23.5%▼	12%▼

出所：各港港湾統計を基に作成。ただし、2025年1月及び2月の大阪港は速々報値。

(注) 神戸港の輸出空コン 21年8月から増、23年5月まで22か月連続増。

2月の東京港の航路別の入港隻数

- 2月の東京港の航路別の入港隻数 [北米＋欧州]航路が横ばいである以外は減少▲傾向。
- ・ [北米＋欧州]航路の隻数は36隻で前年同月より1隻増。直近1年間35隻、前前年1年間37隻で横ばい。
 - ・ 東南アジア航路は113隻で、前年同月は138隻で▼25隻。直近1年間平均143隻、前前年1年間平均149隻より▼。
 - ・ 韓国航路の隻数39隻で前年同月も39隻で横ばい。直近1年間平均44隻、前前年1年間平均43隻より▼。
 - ・ 中国航路の隻数は130隻で前年同月と同じ。直近1年間平均155隻、前々年1年間平均164隻より▼。

航路	A 2月隻数	B 前年 2月隻数	C=A/B 隻数増減(%)	D=24年3月～ 25年2月の計/12	A/D 隻数増減(%)	E=23年3月～ 24年2月の計/12	A/E 隻数増減(%)	D/E 移動平均 隻数増減(%)
北米＋欧州	36	35	2.9%	35	3.6%	37	▲2.0%	▲5.4%
東南アジア	133	138	▲3.6%	143	▲7.2%	149	▲10.5%	▲3.6%
韓国	39	39	◇	44	▲11.7%	43	▲8.4%	3.7%
中国	130	130	◇	155	▲16.1%	164	▲20.5%	▲5.3%